

授業科目	失語症Ⅲ（訓練）				
担当者	橋谷 玲子				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

失語症の障害構造を理解し、症例ごとの生活背景を考慮し、その訓練方法とケースごとの対処方法を学習します。

■ 到達目標

ケースを観察し、生活背景の情報収集を行い、コミュニケーション方法、訓練方法、その他臨床に必要なことを立案出来るようになることを目指します。

■ 授業計画

- 第1回 失語症の臨床
- 第2回 コミュニケーション方法と目標設定
- 第3回 症例1の評価 ブローカ失語
- 第4回 症例1の訓練
- 第5回 症例2の評価 ウェルニッケ失語
- 第6回 症例2の訓練
- 第7回 症例3の評価 他の高次脳機能障害を合併した失語症のコミュニケーション
- 第8回 症例3の訓練
- 第9回 症例4の評価 側性化の特殊な失語症の評価訓練
- 第10回 症例4の訓練
- 第11回 症例5の評価 進行性失語
- 第12回 症例5の訓練
- 第13回 症例6の評価 再帰性発話
- 第14回 症例6の訓練
- 第15回 生活に合わせたコミュニケーション方法の応用

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

基礎知識に基づいて、実際の実習に向けて考えていく授業です。ケースを理解するためにどんな情報が必要なのか、症状を理解するためにどんな知識が必要なのかを話し合いながら深めていきます。

■ 教 科 書

■ 参考図書

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって

教えてもらう授業ではありません。考えて参加する授業にしていきたいと思います。